2016年3月期第2四半期 決算説明会

株式会社日本動物高度医療センター

東証マザーズ：6039

2015年11月27日

目次

1 会社概要 …… P.3

2 2016年3月期第2四半期　決算ハイライト …… P.9

3 市場動向と成長戦略 …… P.17

4 Appendix …… P.25

Copyright© JARMeC All Right Reserved.

JARMeC
Japan Animal Referral Medical Center

１.会社概要

会社概要

会社名	株式会社日本動物高度医療センター Japan Animal Referral Medical Center: JARMeC
主要な事業内容	犬・猫向けの高度医療を行う二次診療専門動物病院
所在地	川崎本院：〒213-0032 神奈川県川崎市高津区久地2-5-8 名古屋分院：〒468-0003愛知県名古屋市天白区鴻の巣1-602
代表取締役社長	平尾 秀博
設立年月日	2005年（平成17年）9月26日　（川崎本院開業　2007年（平成19年）6月1日） （名古屋分院開業　2011年（平成23年）12月1日）
資本金	331,635,660円
従業員数	149名（非常勤24名を含む）（2015年9月現在）　※グループ全体
連携病院数	3,054病院　（2015年9月30日現在）

Copyright© JARMeC All Right Reserved.

設立理念

JARMeCは、動物医療界において、

「臨床や教育現場で活躍する人材教育」の環境を整え、

「動物医療技術の向上を担う臨床研究」にチャレンジし、

教育、臨床研究の実践の場所としての
「高度医療（二次診療）」を地域の連携病院と協力して提供する

以上により広く社会に貢献することを理念としています。

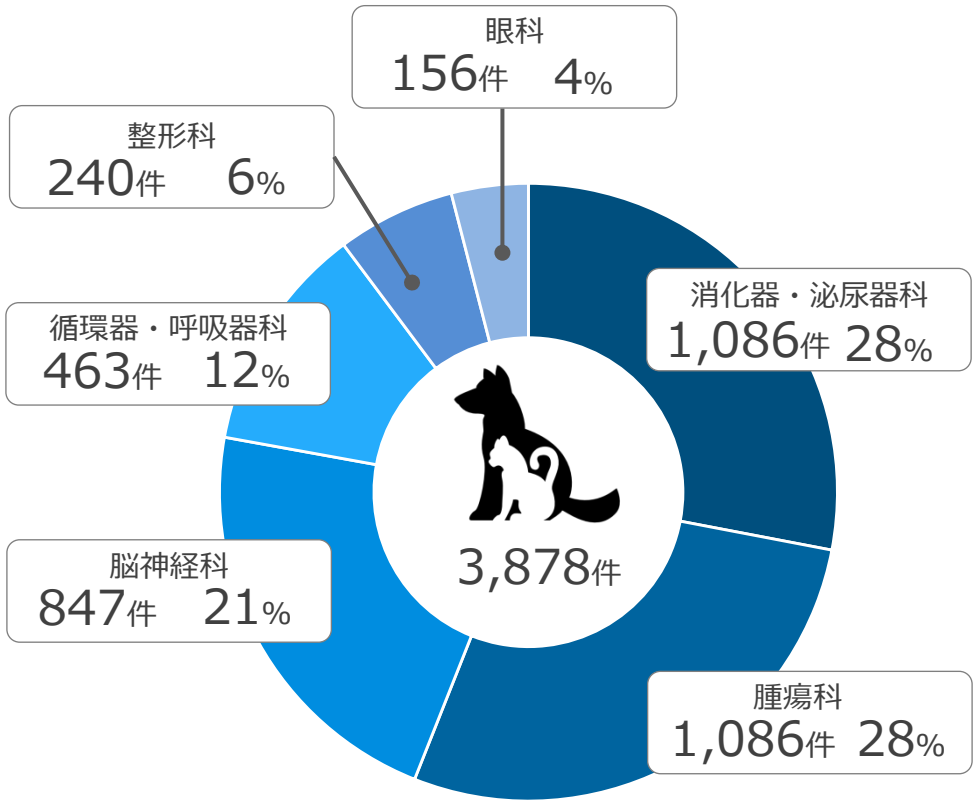
Copyright© JARMeC All Right Reserved.

JARMeCグループ事業概念

Copyright© JARMeC All Right Reserved.

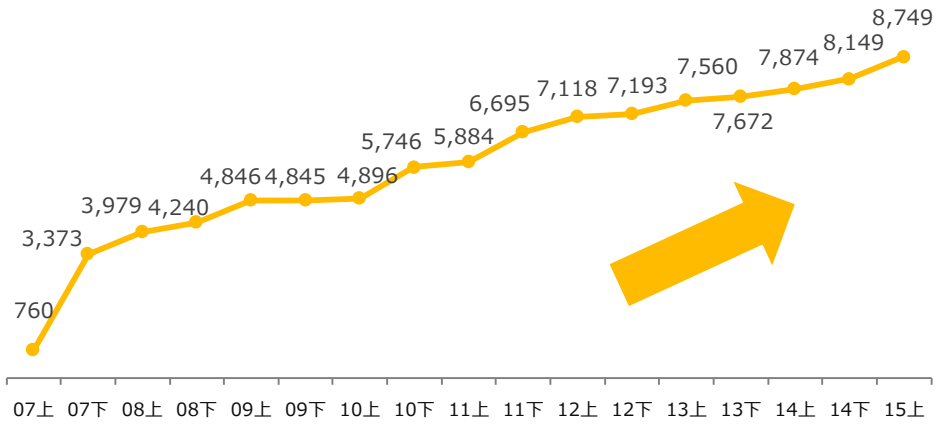
診療状況

診療科別症例割合



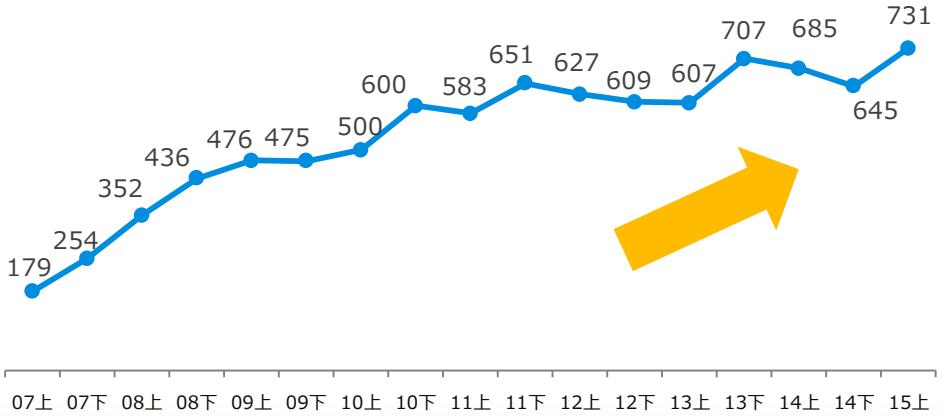
*平成26年4月1日～平成27年3月31日の1年間の
診療予約情報(電子カルテ) をもとに作成

診療件数の推移



注：診療件数は初診と再診の合計

手術件数の推移



Copyright© JARMeC All Right Reserved.

人材拡大

- 臨床研修医スタート後、獣医師を含めた職員数は順調に増加

JARMeC職員数

		2007年6月	2008年6月	2009年6月	2010年6月	2011年6月	2012年6月	2013年6月	2014年6月	2015年6月
獣医師		**19**	**40**	**40**	**43**	**53**	**55**	**57**	**58**	**62**
	常勤	**9**	**31**	**32**	**31**	**40**	**43**	**45**	**41**	**44**
	（うち研修医）	0	11	8	7	8	8	15	19	16
	非常勤	**10**	**9**	**8**	**12**	**13**	**12**	**12**	**17**	**18**
動物看護師		**2**	**4**	**16**	**20**	**22**	**26**	**33**	**33**	**33**
技師他専門職		**0**	**2**	**2**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
事務職員等		**6**	**9**	**13**	**14**	**15**	**19**	**19**	**31**	**33**
計		**27**	**55**	**71**	**77**	**90**	**100**	**119**	**122**	**128**

2009年

民間初の『小動物臨床研修診療施設』を農林水産大臣から指定

2008年

卒後臨床研修医スタート

Copyright© JARMeC All Right Reserved.

JARMeC
Japan Animal Referral Medical Center

２.2016年3月期第2四半期　決算ハイライト

2016年3月期第2四半期　決算のポイント

- 第2四半期は堅調に推移し、営業利益・経常利益は通期計画比で60%を超える進捗率
（営業利益：67.6%、経常利益：67.4%）

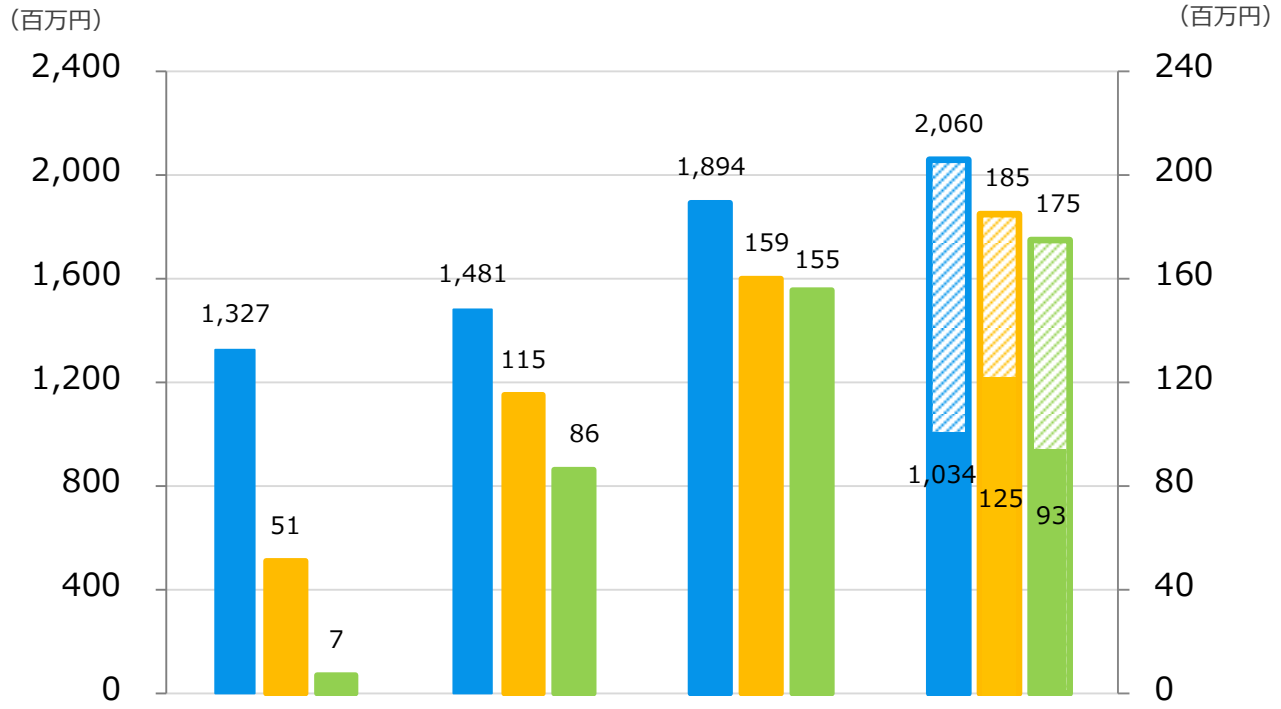
- 診療件数・手術件数は順調に増加

- コストコントロールは計画通り

- 第2四半期の取り組みは来期以降の収益貢献に期待

Copyright© JARMeC All Right Reserved.

決算ハイライト（連結）



（百万円）

	第8期（2013年３月期）	第９期（2014年３月期）	第10期（2015年3月期）	第11期2Q（2016年3月期2Q）
売　上　高	1,327	1,481	1,894	1,034
営業利益（右軸）	51	115	159	125
当期利益（右軸）	7	86	* 155	93

*当期より税効果会計を適用

Copyright© JARMeC All Right Reserved.

業績予想に対する進捗

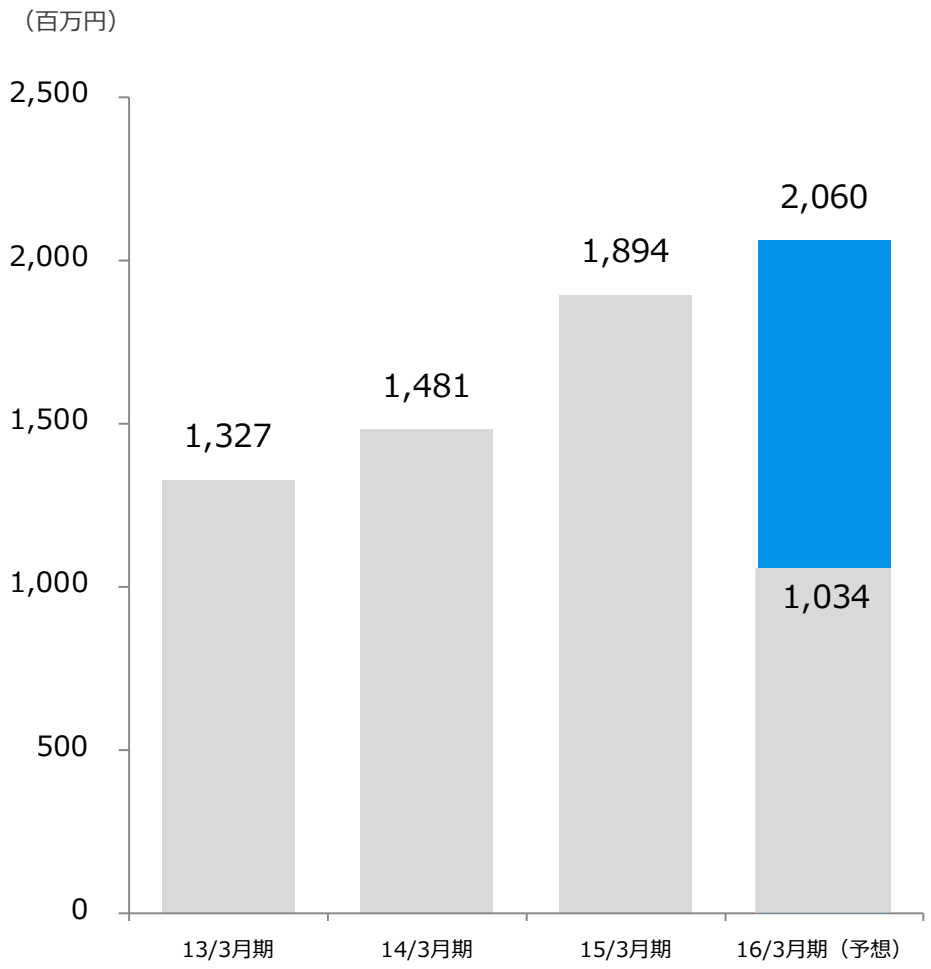
（百万円）

	2016年3月期2Q（2015/4～2015/9）	2016年3月期（2015/4～2016/3）	
	実績	予想	進捗率
売上高	1,034	2,060	50.2%
営業利益	125	185	67.6%
経常利益	118	175	67.4%
親会社株式に帰属する当期純利益	93	160	58.1%
1株当たり当期純利益	40.53	69.48	-

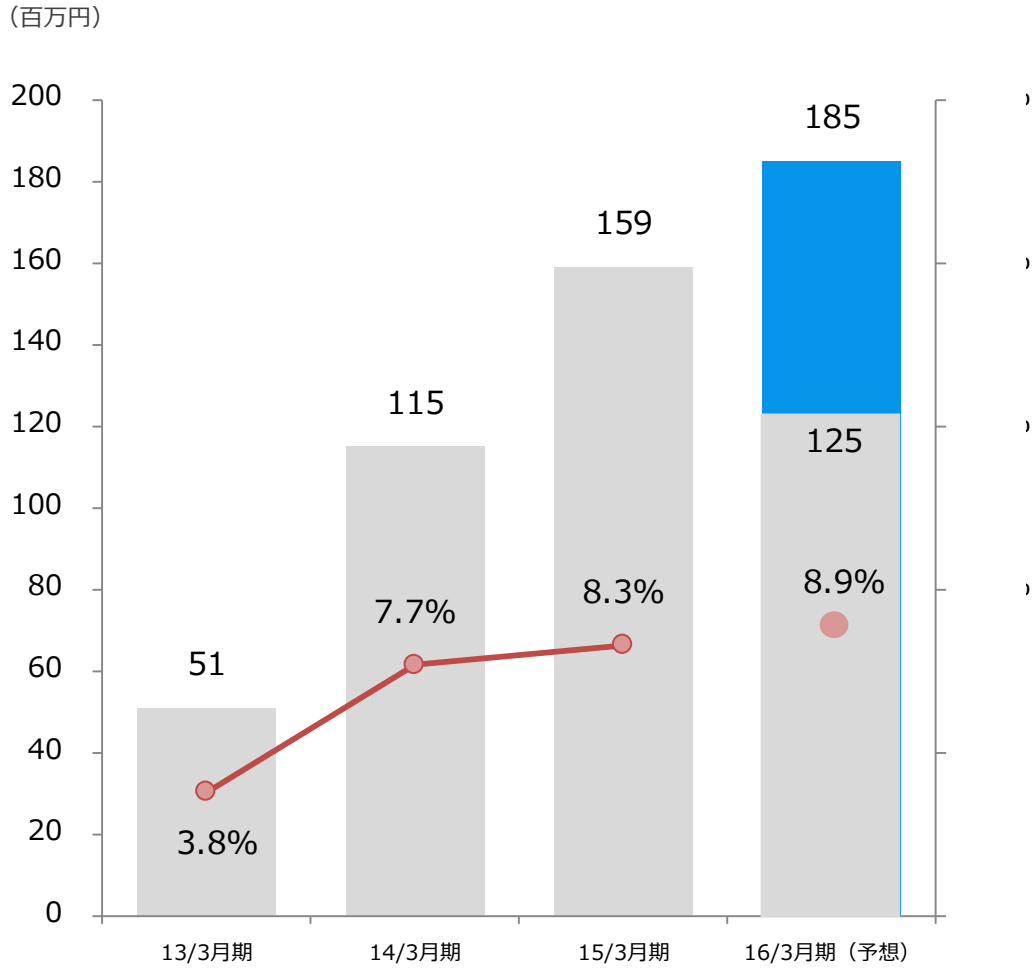
Copyright© JARMeC All Right Reserved.

業績推移 ①

売上高



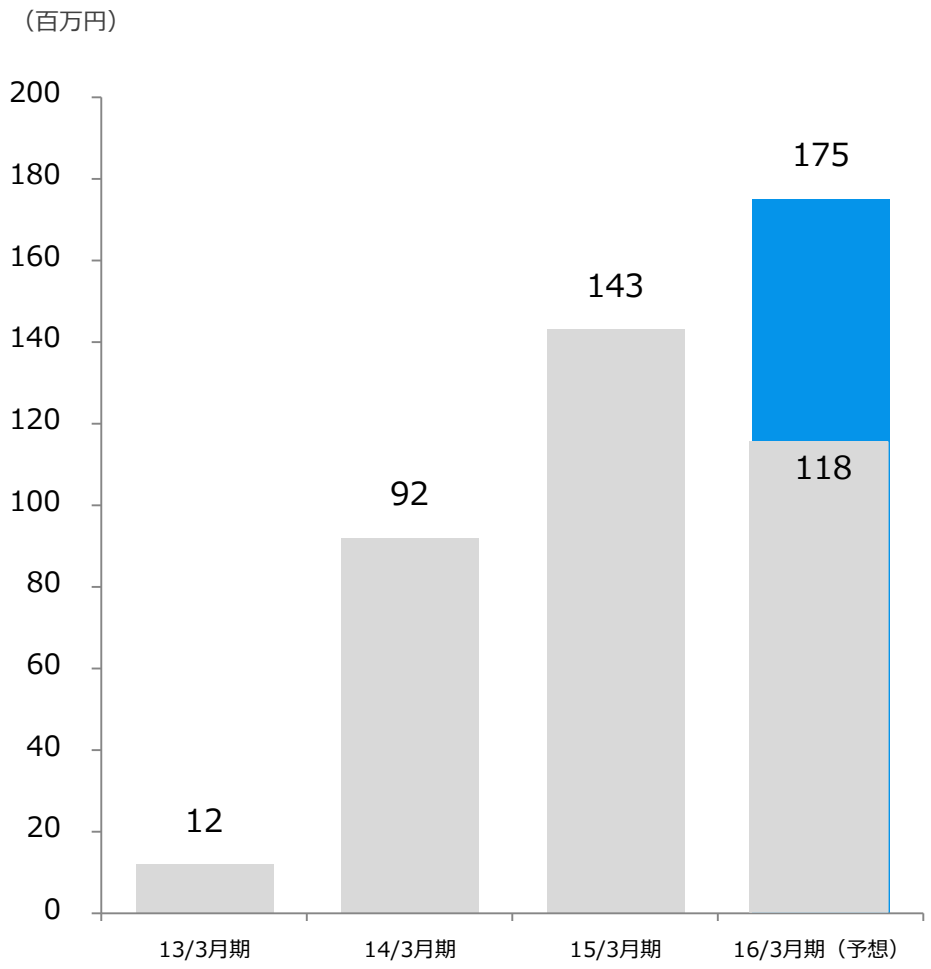
営業利益・営業利益率



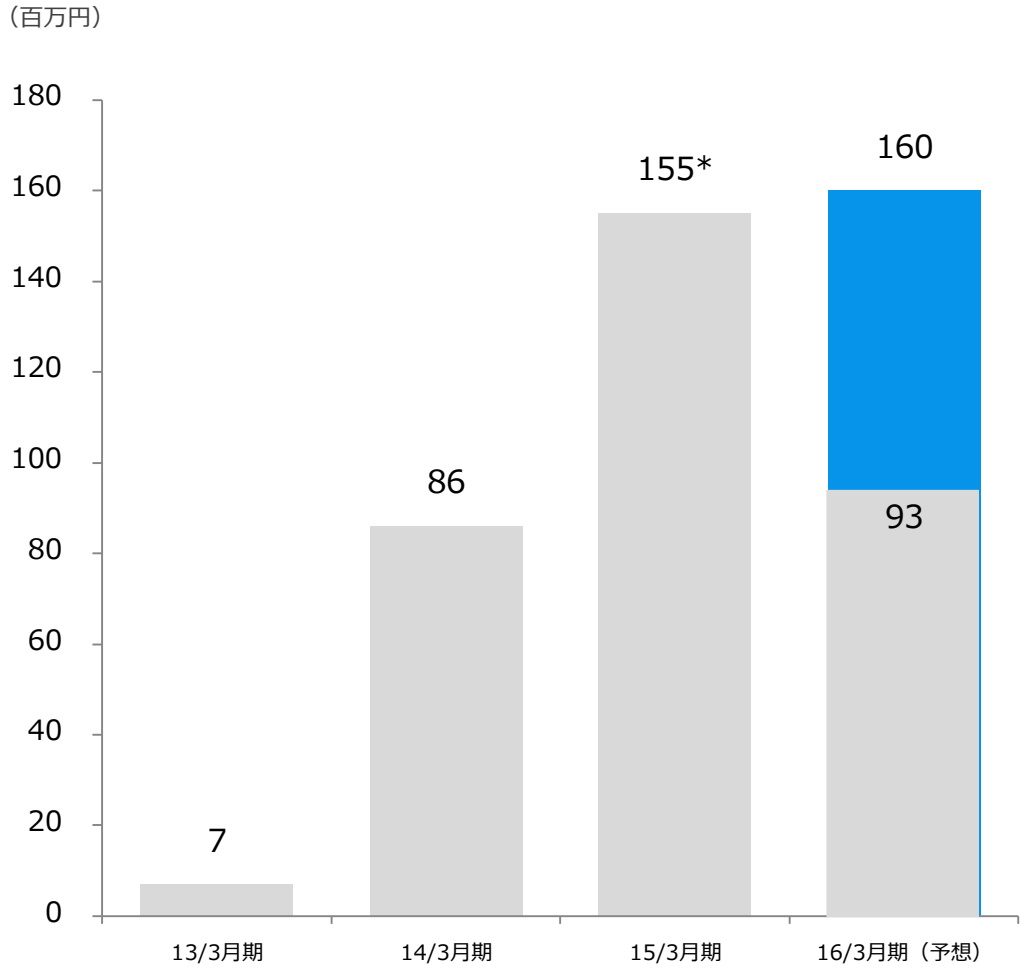
Copyright© JARMeC All Right Reserved.

業績推移 ②

経常利益



当期純利益



*当期より税効果会計を適用

Copyright© JARMeC All Right Reserved.

連結貸借対照表

	2015年3月期末		2016年3月期2Q			
	金額（千円）	構成比（%）	金額（千円）	構成比（%）	前年期末比（%）	主な増加/減少要因
流動資産	883,686	22.5	973,807	23.5	110.2	現金及び預金の増加 売掛金の増加
固定資産	3,038576	77.5	3,165782	76.5	104.2	有形固定資産の増加
資産合計	**3,922,262**	**100.0**	**4,139,589**	**100.0**	**105.5**	
流動負債	1,048,694	26.7	1,041,072	25.1	99.3	
固定負債	2,217,396	56.5	2,236,316	54.0	100.9	長期借入金の増加
負債合計	**3,266,091**	**83.3**	**3,277,389**	**79.2**	**100.3**	
純資産合計	**656,171**	**16.7**	**862,199**	**20.8**	**131.4**	第三者割当増資による増加
負債・純資産合計	**3,922,262**	**100.0**	**4,139,589**	**100.0**	**105.5**	

Copyright© JARMeC All Right Reserved.

キャッシュ・フローの状況

（千円）

	2016年3月期2Q
営業活動によるキャッシュ・フロー	214,540
投資活動によるキャッシュ・フロー	△285,582
財務活動によるキャッシュ・フロー	139,909
現金及び現金同等物に係る換算差額	ー
現金及び現金同等物の増減額	68,867
現金及び現金同等物の期首残高	633,452
現金及び現金同等物の四半期末残高	702,320

■主な営業活動によるキャッシュ・フロー

・税金等調整前当期純利益	119,361千円
・減価償却費	106,909千円

■主な投資活動によるキャッシュ・フロー

・有形固定資産の取得による支出	285,213千円

■主な財務活動によるキャッシュ・フロー

・長期借入れによる収入	470,000千円
・株式の発行による収入	112,914千円
・短期借入金の返済による支出	△210,000千円
・長期借入金の返済による支出	△184,551千円

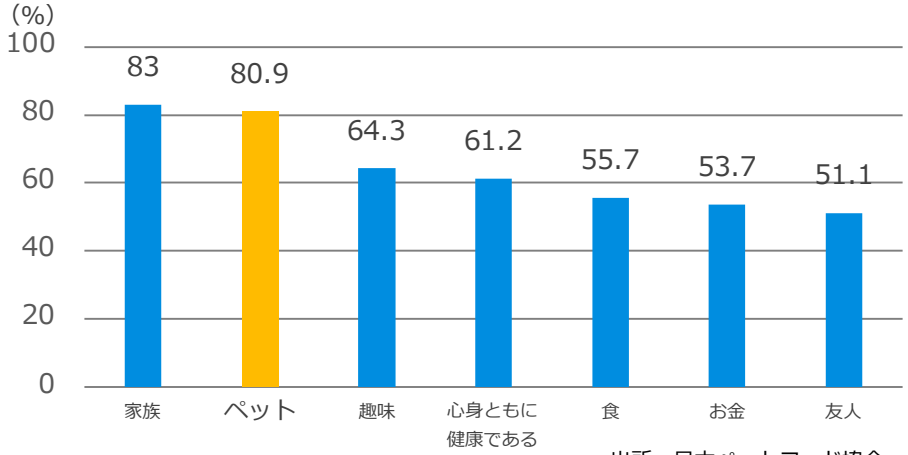
Copyright© JARMeC All Right Reserved.

JARMeC
Japan Animal Referral Medical Center

3.市場動向と成長戦略

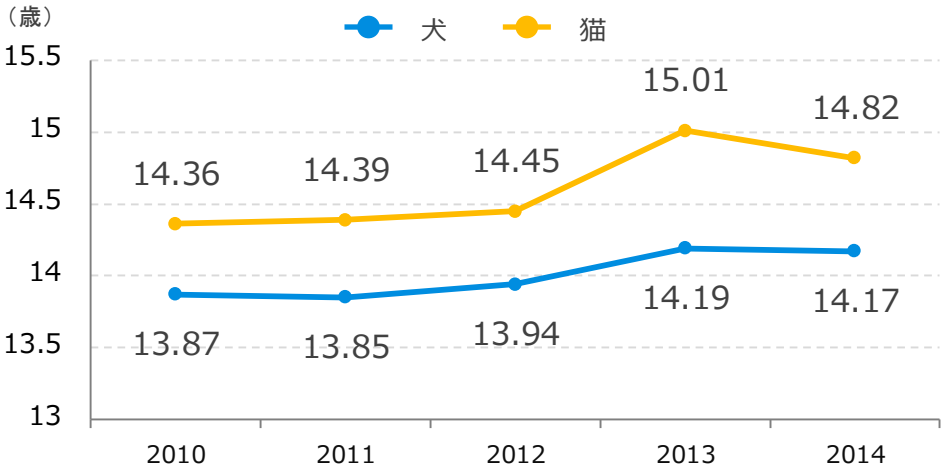
ペット市場の現状

生活に喜びを与えるもの　犬飼育者



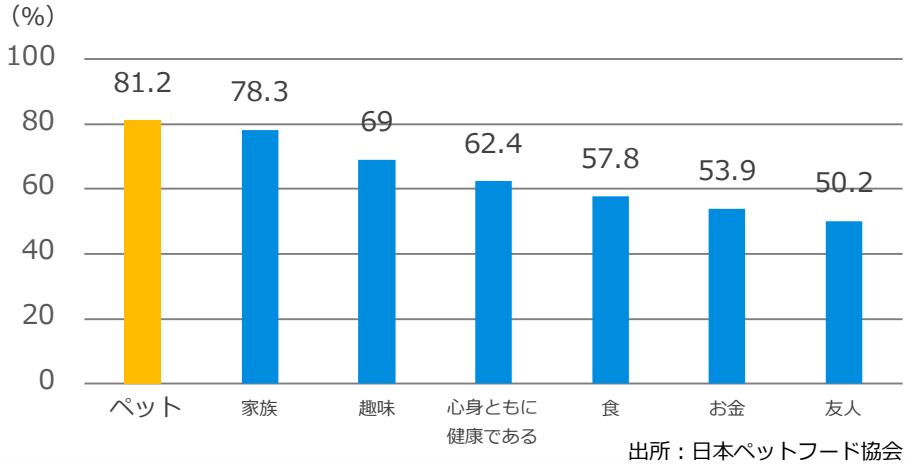
出所：日本ペットフード協会

犬・猫の平均寿命



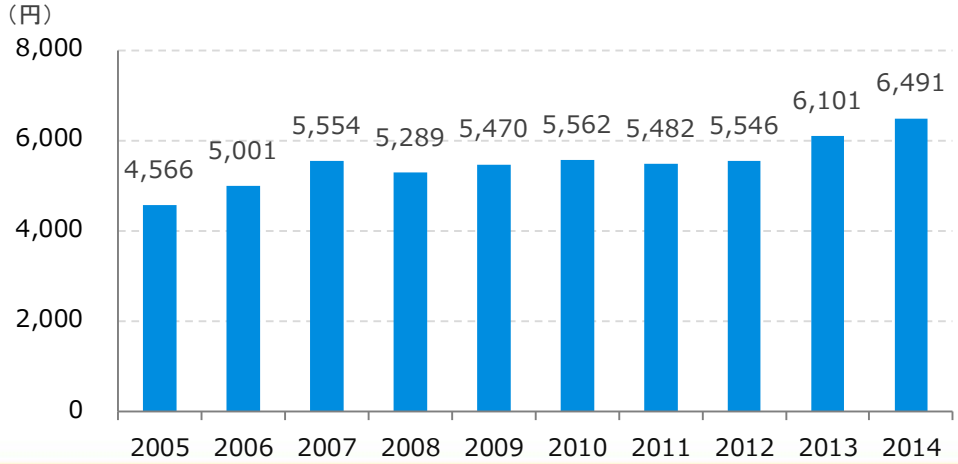
出所：日本ペットフード協会

生活に喜びを与えるもの　猫飼育者



出所：日本ペットフード協会

1世帯当たりの動物病院代の年間支出額（2人以上の世帯）

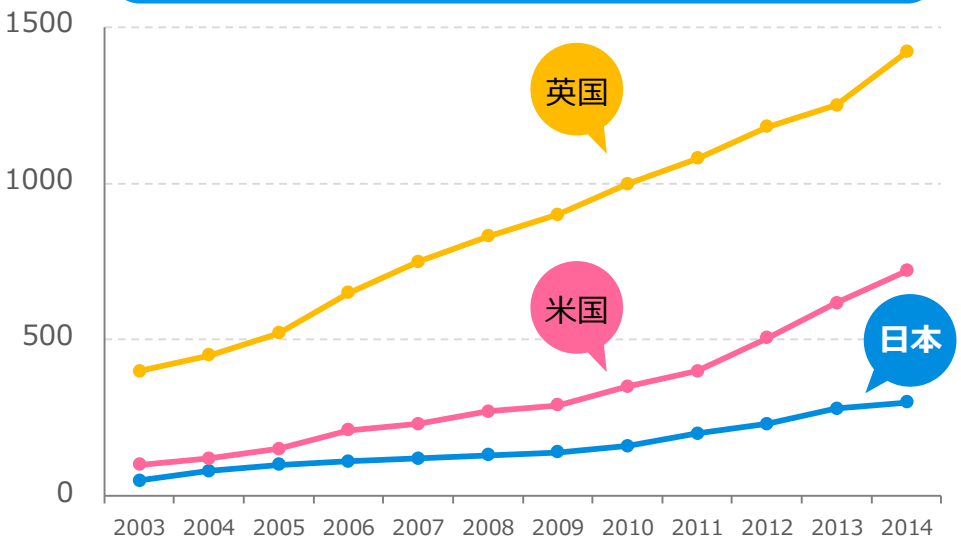


出所：総務省「家計調査」

Copyright© JARMeC All Right Reserved.

ペット保険の現状

英国・北米・日本におけるペット保険料収入推移



英国市場は2010年以降４年間、対前年比９％成長を予測

*Datamonitor 社『UKPetinsurance2011』

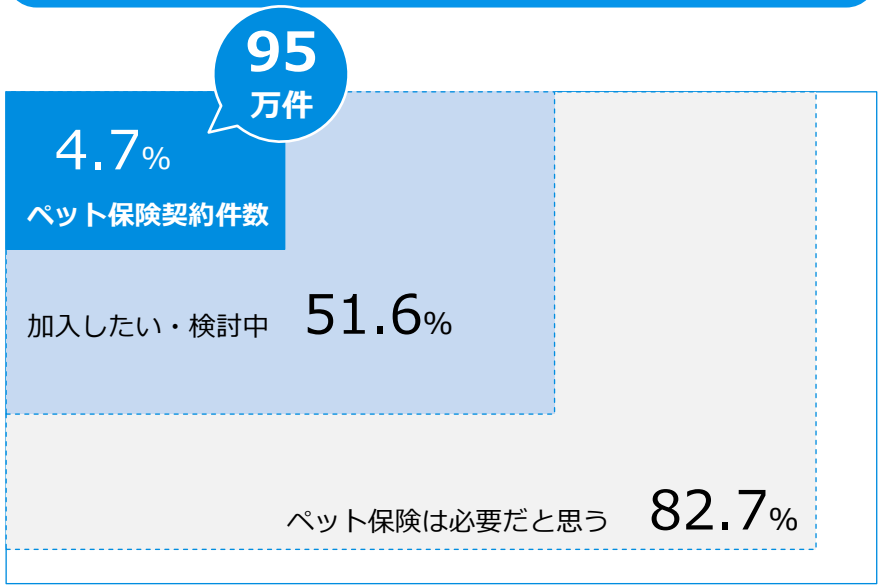
米国市場は今後５年で55%程度の成長予測

*Packaged Facts社『Pet Insurance in North America,5th Edition』

日本市場は2013年度以降２年間、
対前年比10%程度の成長を予測

*㈱富士経済『2013年ペット関連市場マーケティング総覧』

ペット保険市場拡大の可能性



【出所】
国内飼育頭数：日本ペットフード協会
ペット保険契約件数：富士経済
ペット保険加入意向：ペット総研

国内における犬猫飼育頭数（2014年）
2,030万頭

国内のペット保険契約数は約84万頭（約4.1%）
「ペット保険は必要である」との認識は
高いことから、ニーズは拡大傾向で推移と想定。

Copyright© JARMeC All Right Reserved.

二次診療市場の成長可能性

1 ペットの健康への関心の高まり

- 一般の動物病院（一次診療）の増加

2 ペットの寿命延長による疾患の多様化

- 高度医療（二次診療）への要求の高まり

3 ペット保険の拡大

- 高額な医療を受けやすい環境の整備

▼

二次診療市場の高い成長性

Copyright© JARMeC All Right Reserved.

JARMeCの特徴

病院名	JARMeC Japan Animal Referral Medical Center	獣医科大学病院 （全国に１６、その内関東に5）	単科二次診療所
所在地	**神奈川県川崎市**	東京都内・相模原市・藤沢市	–
診療の特徴等	**年中無休 CT・MRI・放射線・PET**	土日祝・夏季・年末年始休業 CT・MRI・(放射線)	365日営業が難しい
獣医師数	**62（2015年9月現在）**	16～31　＊	数名
診療科数	**11**	10～19	1
競合の状況	以下に記載	学生の教育に重点 急患対応が難しい	総合診断の対応が難しい 大型投資が難しい

＊ 教員のみ、非常勤を含む

JARMeCが提供する高品質なサービス

高度医療機器

放射線治療装置・ＰＥＴ・免疫治療・体外循環装置等、大学同等/以上の設備を揃える。

柔軟な受入対応

年中無休、予約の速さ（原則当日または翌日の受入を目指す）、
簡便さ（紹介医の電話による受入が可能）は好評である。

チームによる診療体制

専門診療科において複数の獣医師・スタッフによるチーム獣医療を実践。
必要に応じて複数の診療科が協力して担当。
獣医師数は非常勤を含め62名、看護師数は33名。

Copyright© JARMeC All Right Reserved.

アークレイ株式会社との業務提携検討開始

検討内容

- 動物医療施設間の連携強化ツールの提供（電子カルテ等）
- 動物の生態管理ツールの提供（見守りシステム・活動量計等）
- 動物医療現場における教育・指導ツールの提供
- 獣医師・飼い主に対する診療外サービスの提供
  （問い合わせセンターの設置等）
- 高度動物医療の国際展開活動（獣医師対象のセミナー開催等）

動物医療の発展に寄与するべく、
新しいビジネスモデルの創造を目指す

アークレイ株式会社

- 臨床検査用の機器・試薬および検査データ管理システムの研究開発・製造・販売、機能性食品素材の研究開発・販売
- 2014年9月に動物専用の医療機器・試薬ブランド「thinka（シンカ）」を立ち上げ

Copyright© JARMeC All Right Reserved.

動物見守りシステム「CLAIRVO（クリアボ）」発売開始

JARMeC
Japan Animal Referral Medical Center

動物病院向け見守りシステム「CLAIRVO（クリアボ）」

JCアライアンスより
2015年11月発売開始

1 24時間モニタリング可能

- 内蔵カメラでリアルタイムモニタリング、スマートフォン・PCでどこでも閲覧可能
- マイクロ波センサーで患者動物の呼吸・心拍・体動を計測、アラート機能も搭載

2 動物にやさしく、設置も容易

- センサー・カメラ一体型で取り扱いが簡単、ケージ内/外どちらでも設置可能
- 非接触型で動物へのストレスは軽微、赤外線で夜間モニターも可能

3 飼い主向けお見舞い機能

- インフォームド・コンセントに活用できる退院レポート作成機能搭載
- お見舞い機能により飼い主と情報共有可能

次世代動物医療の実現を目指す

Copyright© JARMeC All Right Reserved.

成長戦略

拠点の拡大

全国主要都市に施設の展開を積極的に推進

連携病院の拡大

地域の動物病院との連携を積極的に推進

対外活動の強化

学会発表、セミナー開催などの学術活動を活発化

新規事業の拡大

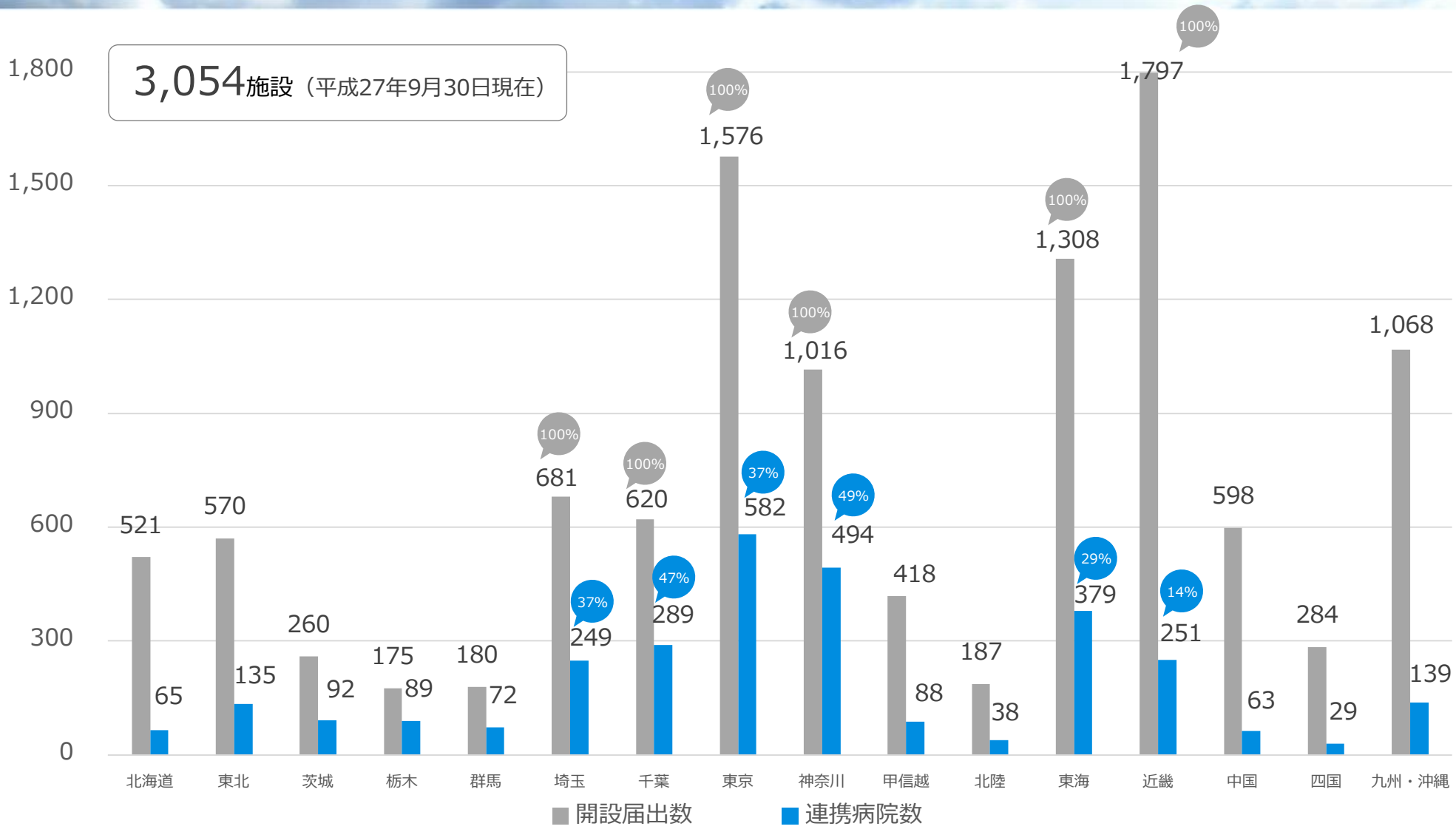
動物医療において診療以外の領域で患者動物・飼い主・一次診療施設をサポートする新規事業に挑戦

Copyright© JARMeC All Right Reserved.

JARMeC
Japan Animal Referral Medical Center

4.Appendix

地域別連携病院数



出所：地域別の開設届出数は農林水産省より、2014年12月末時点の小動物診療施設の軒数。
連携病院数は2015年9月末時点の軒数。

Copyright© JARMeC All Right Reserved.

施設・設備紹介

- 対人医療と同様の高度な医療機器を備える

検査装置

放射線治療装置

PET-CT

高解像度X線検査室

MRI

超音波検査室

手術室

手術室（全6室）

第1
心臓血管外科・脳神経外科

第2
腫瘍科

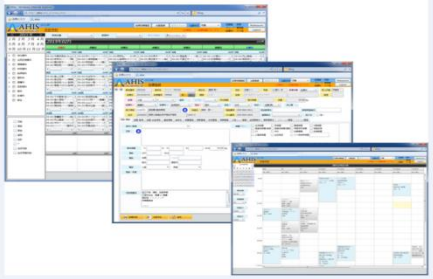
第3
眼科

第5・第6
多目的

第7
歯科口腔外科・内視鏡

電子カルテ・院内画像ネットワーク

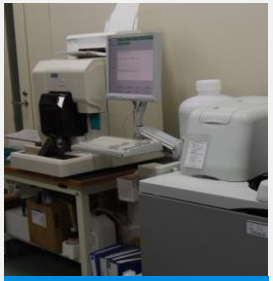
画像ネットワーク（FABRICA）


電子カルテ（AHIS）

免疫治療

免疫治療部門室

病理・血液検査センター


病理検査センター

血液検査センター

Copyright© JARMeC All Right Reserved.

JARMeCの獣医師教育プラン

卒後臨床研修は、大学卒業後2年間に体系的なカリキュラムと指導体制のもとで、獣医師としての人格や価値観を育成し、患者動物を体系的に診ることができる基本的な診療能力を習得することを目的とする。

卒後臨床研修プログラム

臨床研修医

業 績 評 価

業績評価・終了認定

勤務医

1年目　各診療科ローテート研修

	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ
外来診療	循環器・呼吸器科	消化器科	泌尿器科	腫瘍科	脳神経科
検査					
手術					
入院管理					

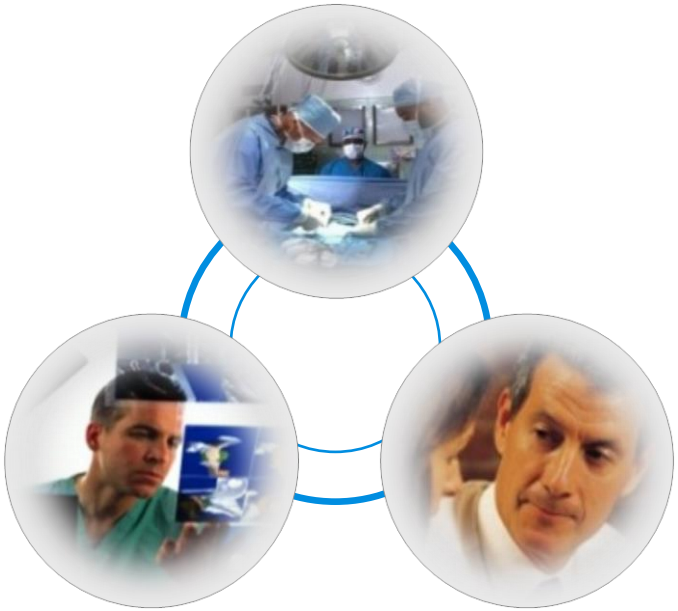
	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ
外来診療	整形外科	放射線・画像診断科	麻酔科	眼科
検査				
手術				
入院管理				

2年目　選択した専門診療科での実践研修

	Ⅰ	Ⅱ
外来診療	選択した診療科	選択した診療科
検査		
手術		
入院管理		

3C Skills

Clinical Skill
クリニカルスキル



Conceptual Skill
コンセプチュアルスキル

Communication Skill
コミュニケーションスキル

Copyright© JARMeC All Right Reserved.

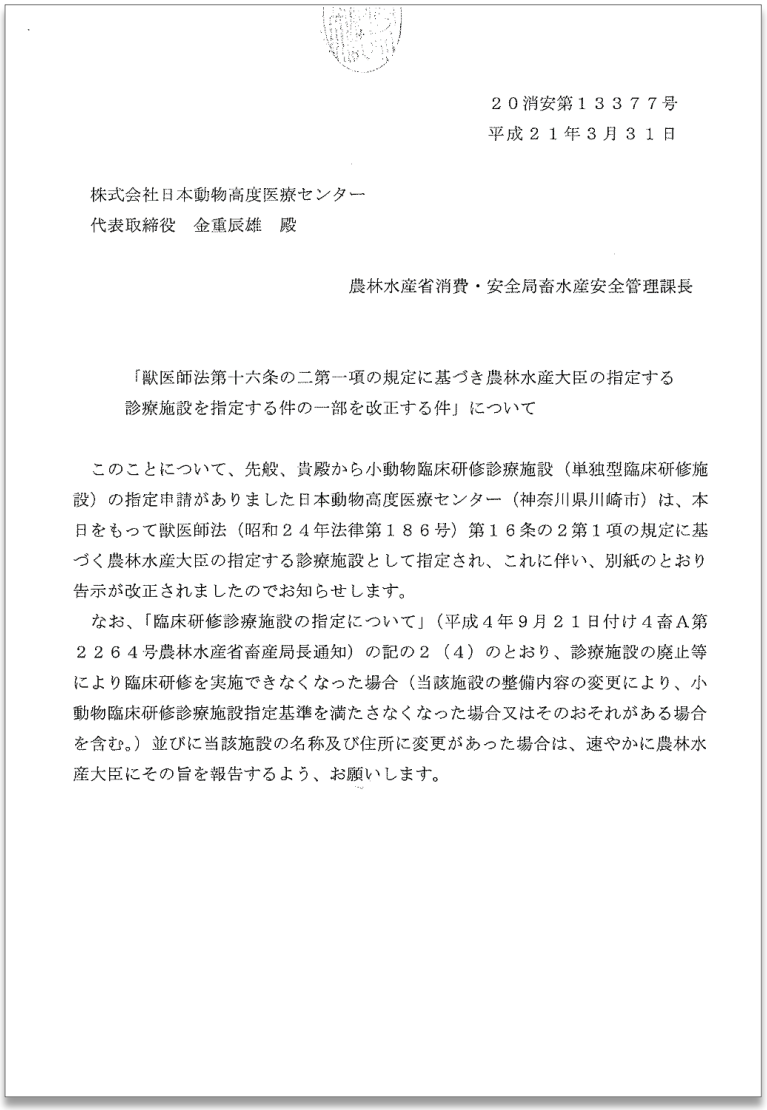
小動物臨床研修施設指定

平成21年3月31日

民間では初となる
「小動物臨床研修診療施設指定」を
農林水産大臣より受ける。

▼

より専門性および公共性の高い施設を目指す。
将来、優秀な人材を育て輩出することができる。



２０消安第１３３７７号
平成２１年３月３１日

株式会社日本動物高度医療センター
代表取締役　金重辰雄　殿

農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課長

「獣医師法第十六条の二第一項の規定に基づき農林水産大臣の指定する診療施設を指定する件の一部を改正する件」について

このことについて、先般、貴殿から小動物臨床研修診療施設（単独型臨床研修施設）の指定申請がありました日本動物高度医療センター（神奈川県川崎市）は、本日をもって獣医師法（昭和２４年法律第１８６号）第１６条の２第１項の規定に基づく農林水産大臣の指定する診療施設として指定され、これに伴い、別紙のとおり告示が改正されましたのでお知らせします。

なお、「臨床研修診療施設の指定について」（平成４年９月２１日付け４畜Ａ第２２６４号農林水産省畜産局長通知）の記の２（４）のとおり、診療施設の廃止等により臨床研修を実施できなくなった場合（当該施設の整備内容の変更により、小動物臨床研修診療施設指定基準を満たさなくなった場合又はそのおそれがある場合を含む。）並びに当該施設の名称及び住所に変更があった場合は、速やかに農林水産大臣にその旨を報告するよう、お願いします。

Copyright© JARMeC All Right Reserved.

ご留意事項

- 本資料は、株式会社日本動物高度医療センターの事業及び業界動向についての株式会社日本動物高度医療センターによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた 将来の展望についても言及しています。
- これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確実性がつきまとっています。
- 既に知られたもしくはいまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。
- 株式会社日本動物高度医療センターは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。
- 本資料における将来の展望に関する表明は、2015年11月27日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社日本動物高度医療センターにより2015年11月27日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

Copyright© JARMeC All Right Reserved.